

『まほろば健康パーク』の整備推進

—大規模競泳大会等の開催に向けたスイムピア奈良の施設充実—
—子どものための遊び・運動・スポーツパークを目指した機能強化—

令和2年7月

【担当省庁】国土交通省

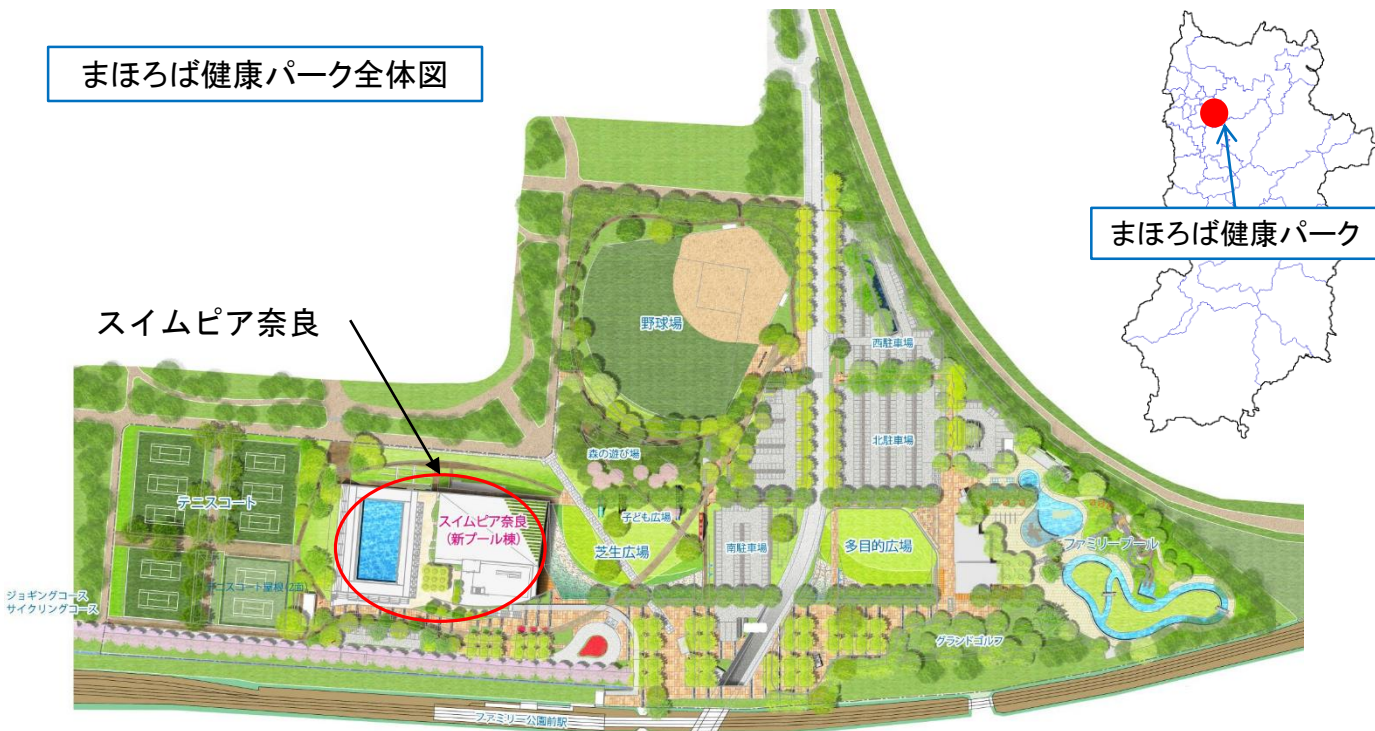
御礼

令和元年度補正予算および令和2年度予算において、まほろば健康パークの整備推進に向けご配慮いただき感謝申し上げます。

奈良県における取組

- まほろば健康パークは、競泳用プールやテニスコート、野球場、ファミリープール等の機能を有するスポーツ拠点施設の一つであり、PFI事業により整備し運営を行っている。
- 競泳用プール(スイムピア奈良)については、大規模競泳大会を開催できるよう、観客席増設や日よけ屋根新設等の設備の充実を進めており、令和3年度完成を目指している。
今年度中に開催要望を行う**2030年の国民スポーツ大会**の水泳競技会場として活用を予定。
- 新たに、隣接する下水道区域(緩衝エリア)を活用して、「**子どもが憩い楽しみ、遊びや運動、スポーツを通して成長する**」をコンセプトとした公園への機能強化を図るべく検討を進めている。

まほろば健康パーク全体図



まほろば健康パーク

国にお願いすること

○ スイムピア奈良の施設充実が令和3年度に完了できるよう
社会資本整備総合交付金の確実な確保をお願いします。

◆ スイムピア奈良

令和3年度 要望額 66百万円【国費33百万円】

事業期間：令和元年度～令和3年度(完成予定)

整備内訳：観客席増設 3,005席(1,476席追加)、日よけ屋根新設、選手控室の新設

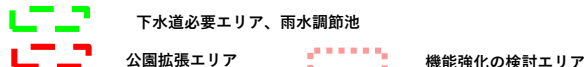


<整備イメージ>

○ 「子どもが憩い楽しみ、遊びや運動、スポーツを通して成長する公園」をコンセプトとし、民間活力の導入も見据えた、まほろば健康パークの機能強化に向けて技術的支援と予算の重点配分をお願いします

○ 子どもの発達段階に応じた、子どものための遊び・運動・スポーツパークを目指して、隣接する下水道区域(緩衝エリア)に公園区域を拡張し、機能強化を進める方針。
(令和2年度に基本計画(案)を策定予定)

- 機能強化のポイント ⇒
- ①乳児・幼児が遊びを通して成長できる施設
 - ②子どもが遊びや運動を楽しみ上達する施設
 - ③子どもが目標に向かって取り組むスポーツ施設など



【県担当部局】

地域デザイン推進局公園緑地課